褥瘡リスク評価｜OHスケール・危険因子評価

A4・2ページ｜初回・定期・状態変化時の評価

01 基本情報・実施状況

患者ID：_____　評価日：_____年____月____日　評価者：_____

評価区分：☐ 初回 ☐ 定期 ☐ 状態変化時　評価場所：_____

評価条件（姿勢・覚醒など）：_____

02 OHスケール｜各項目の判定と得点

自力体位変換	☐ できる 0 ☐ どちらでもない 1.5 ☐ できない 3	得点：____
病的骨突出（仙骨部）	☐ なし 0 ☐ 軽度・中等度 1.5 ☐ 高度 3	得点：____
浮腫	☐ なし 0 ☐ あり 3	得点：____
関節拘縮	☐ なし 0 ☐ あり 1	得点：____

OH合計：_____ / 10点　☐ 全項目実施　☐ 未実施・評価不能あり（合計の扱いを確認）

リスク区分：☐ 0点（なし）　☐ 0点超〜4点未満（軽度）　☐ 4点以上〜7点未満（中等度）

☐ 7点以上〜10点（高度）　※1.5点刻みの値を含む境界表記

未実施・評価不能の項目と理由：_____

03 厚生労働省の危険因子評価｜項目別チェック

日常生活自立度：☐ J1/J2 ☐ A1/A2 ☐ B1/B2 ☐ C1/C2 ☐ 未確認

ベッド上：自力体位変換	☐ できる ☐ できない ☐ 未評価
イス上：座位保持・除圧	☐ できる ☐ できない ☐ 未評価
病的骨突出	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価
関節拘縮	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価
栄養状態低下	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価
皮膚湿潤（多汗・失禁等）	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価
皮膚の脆弱性：浮腫	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価
皮膚の脆弱性：スキン-テア	☐ なし ☐ あり ☐ 未評価

該当項目・未評価理由：_____

注意：OH点数と危険因子評価は合算しません。未評価を0点・「なし」に置換しません。

制度上の正式様式・評価対象・判定手順は、使用時点の通知と施設基準を確認してください。

褥瘡リスク評価｜OHスケール・危険因子評価

予防介入・皮膚観察・再評価・多職種共有

04 皮膚状態と観察部位

皮膚：☐ 発赤 ☐ 既存褥瘡 ☐ 湿潤 ☐ スキン-テア ☐ その他：_____

部位：☐ 後頭部 ☐ 仙骨部 ☐ 坐骨部 ☐ 大転子部 ☐ 踵部 ☐ その他：_____

MDRPU：☐ 医療機器接触部を確認 ☐ 該当機器なし ☐ 未確認

皮膚所見・優先課題：_____

05 予防介入・環境調整

体圧分散寝具：☐ 継続 ☐ 見直し検討 ☐ 変更済　種類：_____

体位変換：☐ 方法・頻度を検討 ☐ 除圧 ☐ ずれ・摩擦対策 ☐ 介助量調整

ポジショニング：☐ クッション ☐ 骨突出部の保護 ☐ 拘縮・変形への対応

車椅子座位：☐ クッション確認 ☐ 座位姿勢 ☐ 除圧方法 ☐ 座位時間

踵部：☐ 接触圧確認 ☐ 踵部の除圧 ☐ 下肢支持・姿勢調整

その他：☐ 皮膚ケア ☐ 栄養・水分の連携 ☐ 医療機器の固定・接触部確認

具体的な対応・担当：_____

_____

06 再評価｜変化した項目を記録

前回評価日：____年__月__日　今回評価日：____年__月__日　次回予定：_____

OH：前回 _____ /10点 → 今回 _____ /10点　変化：_____点　☐ 比較不可

変化したOH項目：☐ 体位変換 ☐ 骨突出 ☐ 浮腫 ☐ 拘縮 ☐ なし ☐ 不明

危険因子評価の変化：☐ 動作能力 ☐ 骨突出 ☐ 拘縮 ☐ 栄養 ☐ 湿潤
☐ 浮腫 ☐ スキン-テア ☐ 変化なし ☐ 比較不可

変化の背景・評価条件：_____

07 多職種共有・今後の方針

共有先：☐ 医師 ☐ 看護 ☐ PT/OT/ST ☐ 管理栄養士 ☐ 介護職 ☐ その他

共有事項：_____

次回までの対応：_____

参考：OHスケール開発者資料／厚生労働省「褥瘡対策に関する診療計画書」関連通知